



能登半島地震 災害支援ボランティア 2日目

発災当時は指定避難所ではなく何の備蓄もなかった矢田郷コミュニティーセンターですが600人を超える避難者が来られたそうです。備蓄もない状態、しばらくは救助物資も入ってこなかった発災すぐから現在に至るまでの館長さんはじめ職員の皆様のご苦勞は計り知れないです。

今は少し落ち着きボランティアなどの炊き出しが時々あるそうです。私たちも150人分の炊き出しをしました。「出来立ての温かいご飯はとても嬉しい。」と避難者の言って貰えてみんな頑張った甲斐がありました！ワークショップの折り紙は図書室に壁紙製作での経験を生かして小学生や幼児たちと一緒にワイワイ行いました。

夕方には津波に遭った珠洲市に移動して視察と現地で活動している人のお話を聞きました。



ハンドトリートメント、アロマ虫除けスプレー作り、折り紙、飲み物とお菓子でほっと一息コーナー



150人分の炊き出し
アレルギー確認も



発災直後からこのおにぎりばかり食べていた



地震で崩れた家と地震と津波で使用不可になったお店

